

委託訓練カリキュラム

訓練の種類別 (該当する項目は「✓」印)			資格の取得をめざす訓練	✓	職場見学等を実施する訓練	
訓練科名		介護福祉士実務者研修科(6か月)		就職先の 職務・仕事	高齢者・障がい者施設介護職員、高齢者・障がい者訪問 介護員、および介護リーダー職	
訓練期間(定員)		6か月(30人)				
訓練受講生の条件		特になし				
訓練目標 (仕上がり像)		介護に従事する者として必要な基礎から応用までの知識・技能を身につけるとともに、実務者に必要とされる専門的な知識・技能を習得する。				
訓練概要		介護福祉士国家資格の取得を目標にベテラン介護職としてキャリアアップをめざされる方のために、実務者研修を通して介護の基礎から応用まで福祉の考え方や介護技術・医療的ケアを修得し、全身性ガイドヘルパー講座や福祉PC講座を学び、現場や内勤と多様な働き方を可能にし、職業見学などにより、受講生が自らの「強み」を活かした「やりがい」のある職種を明確にして就業できるように就職支援をおこなう。				
訓練修了後に 取得できる資格		名称(介護福祉士実務者研修)認定機関(NPO法人あすなろ) 名称(大阪府移動支援従業者養成研修全身性障がい課程)認定機関(NPO法人あすなろ) 名称(普通救命講習Ⅰ)認定機関(大阪市消防局)				
訓練修了後に 受験できる関連資格 ※受験料別途自己負担		名称(日商PC検定文書作成Basic)認定機関(日本商工会議所)				
訓練内容	DL	科目	科目の内容		時間	
		(1) 人間の尊厳と自立	①人間の多面的な理解と尊厳②自立の支援③人権と尊厳		6	
		(2) 社会の理解Ⅰ	①介護保険制度の背景と目的②介護保険制度の基礎的理解③介護保険制度における専門職の役割		6	
		(3) 社会の理解Ⅱ	①社会と生活のしくみ②地域共生社会の実現に向けた制度や施策③介護保険制度④障がい者支援制度⑤介護実績に関わる諸制度		36	
		(4) 介護の基本Ⅰ	①介護福祉士の制度②尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開③介護福祉士の倫理		12	
		(5) 介護の基本Ⅱ	①介護を必要とする人の生活の理解と支援②介護実践における連携③介護における安全の確保とリスクマネジメント④介護従事者の安全		24	
		(6) コミュニケーション技術	①介護におけるコミュニケーション②介護におけるコミュニケーション技術③介護現場における利用者・家族とのコミュニケーション		24	
		(7) 生活支援技術Ⅰ	①生活支援ⅠCF②居住環境の整備と福祉用具の活用③移動・移乗の介護技術の基本④食事の介護技術の基本⑤入浴・清潔保持の介護技術の基本⑥排泄の介護技術の基本⑦着脱・整容口腔清潔の介護技術の基本⑧家事援助の基本		24	
		(8) 生活支援技術Ⅱ	①移動・移乗の介護②食事の介護③入浴・清潔保持の介助		36	
		(9) 介護過程Ⅰ	①介護過程の意義と目的②介護過程の展開③介護過程とチームアプローチ		24	
		(10) 介護過程Ⅱ	①介護職による介護過程の進め方②介護過程の実践的展開③施設で暮らす高齢者の介護過程④在宅で暮らす高齢者の介護過程		30	
		(11) 介護過程Ⅲ(スクーリング)	利用者の特性に合わせた介護過程の実践的展開		54	
		(12) こころとからだのしくみⅠ	①移動・移乗に関連するからだのしくみ②食事に関連するからだのしくみ③入浴・清潔保持に関するからだのしくみ④排泄に関連するからだのしくみ⑤着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ⑥休息と睡眠に関連するからだのしくみ		24	
		(13) こころとからだのしくみⅡ	①人間の心理②人体の構造と機能③移動・移乗における観察のポイント④食事における観察のポイント⑤入浴・清潔保持における観察のポイント⑥排泄における観察のポイント⑦着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント⑧休息・睡眠における観察のポイント⑨人生の最終段階のケアにおける観察のポイント		72	
		(14) 発達と老化の理解Ⅰ	①心の変化と日常生活への影響②からだの変化と日常生活への影響		12	
		(15) 発達と老化の理解Ⅱ	①人間の成長・発達②老年期の発達・成熟と心理③高齢者に多くみられる症状・疾病等		24	
		(16)認知症の理解Ⅰ	①認知症ケアの理念と視点②認知用による生活障がい、心理・行動の特徴③認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本		12	
		(17)認知症の理解Ⅱ	①医学的側面から見た認知症の理解②認知症の人への支援の実際		24	
		(18) 障がいの理解Ⅰ	①障がい者福祉の理念②障がいによる生活障がい、心理・行動の特徴③障がいのある人や家族へのかかわり・支援の基本		12	
		(19) 障がいの理解Ⅱ	①医学的側面から見た障がいの理解②障がいの特性に応じた支援の実際		24	
		(20) 医療的ケア 講義	①医療的ケア実施の基礎②高齢者および障がい児・者の喀痰吸引概論③高齢者および障がい児・者の喀痰吸引実施手順解説④高齢者および障がい児・者の経管栄養概論⑤高齢者および障がい児・者の経管栄養実施手順解説		60	
		(21) 医療的ケア 演習	①喀痰吸引のケアの実施②経管栄養のケアの実施③救急蘇生の実施		15	
		安全衛生	福祉の現場における安全衛生および腰痛予防		3	
		働くことの基本ルール	労働締結 賃金・労働時間・休息・休日・有給休暇 労働契約の終了 労働保険 社会保険 母性保護など		3	
		普通救命講習Ⅰ	心肺蘇生法 AED 異物除去 止血法		3	
		全身性ガイドヘルパー講座 (講義)	障がい者(児)福祉制度と移動支援事業 移動支援従業者の業務 移動支援従業者の職業倫理 障がいの人権 障がいの理解 障がい者(児)の心理 移動介助の基礎的知識		14	
		全身性ガイドヘルパー講座 (演習)	移動介助の基礎技術 交通機関利用の介助・援助		11	
		○	福祉PC講座	PC操作の基本、介護記録の作成、事故報告書の作成、日商PC検定Basic検定試験対策、デジタルリテラシー		20
		就職支援	ビジネススキル研修	①社会人基礎力 ②コミュニケーション能力 ③ビジネスマナー		18
	○		就活のIT活用支援	履歴書、職務経歴書などエントリーシートの作成、ビジネス文書の作成、ビジネスメールの出し方、デジタルリテラシー・社会の変化		6
			就活の実践的支援	志望動機、自己PRの見つけ方、模擬面接のロールプレイ		6
			アンガーマネジメントの理解	「怒り」をコントロールする意義、「怒り」感情の機能と役割、「怒り」の事例検討、衝動のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロール		3
			ふくしフィールドワーク (職場見学)	特別養護老人ホーム、グループホーム、障がい者就労継続支援事業所B型のなかから2カ所訪問し、施設職員の説明を受けながら福祉サービス提供の実態を見学する。		6
訓練時間総合計					648 時間	
学科		436 時間	実技	173 時間	就職支援	39 時間

※DL(デジタルリテラシー):訓練分野の特性に応じた基礎的なデジタルリテラシーの要素を含む

【訓練実施施設名】

NPO法人あすなろふくしの学校福島駅前教室

【所在地】

〒553-0003

大阪市福島区福島5-14-6 福島阪神クレセントビル3階

【電話番号】

06-6451-4400

【最寄り駅】

JR環状線 福島駅(徒歩2分・距離0.3km)

JR東西線 新福島駅(徒歩3分・距離0.5km)

阪神本線 福島駅(徒歩3分・距離0.5km)

【最寄り駅からの地図】

